

アタマジラミについて

秋田市保健所

○最近被害が増えています。

- ・特に保育園や小学校低学年で集団発生することがあります。
- ・アタマジラミは清潔にしている場合でも、接触の機会があればうつります。

○アタマジラミを見つけても驚かないでください。

- ・きちんと対応すれば、10日ぐらいで駆除できます。
- ・正しい認識をもって、駆除しましょう。
- ・今のところ病気を媒介した例はありません。
- ・不潔だと受け取られがちですが、不衛生にしているから発生しているわけではありません。子どもの心を傷つけないようにしましょう。

○しかし、集団発生には特に配慮が必要です。

→別紙「アタマジラミが大量発生した場合の対応について」に基づいた適切な対応をお願いします。

- ・幼稚園児や児童にアタマジラミの発生が認められた場合には、かなり広範囲にまん延していると考えられます。
- ・まん延している場合には、一人だけに対策を行っても、またすぐにうつされます。
- ・差別やいじめの対象となることがあり、検査や指導の際には注意する必要があります。

1 生態と形態

- ・雌は卵を頭皮に産み付ける。
- ・産卵期間は約1か月、日に3～9個、総数約100個を産む。
- ・卵は楕円形で上端にでこぼこしたふたがあり、乳白色で光沢がある。
- ・卵は約1週間で幼虫、そして3～5回の脱皮を繰り返して7～16日で成虫となり、寿命は1ヶ月～1ヶ月半
- ・ふ化直後より吸血開始、吸血は1日数回、幼虫から成虫まで雌雄を問わず吸血し、血液を栄養源としている。
- ・幼虫は体長1.0mm前後で、成虫とよく似た形をしている。
- ・成虫は体長1.0～2.7mm程度で、褐色～灰色。
- ・2時間に約35cm程度移動する。
- ・血を吸わないと、約7～72時間（条件により異なる。）で死滅する。

2 感染経路

- ・アタマジラミは飛んだり跳ねたりしない。髪に接触することでうつることがある。
- ・家族内や集団の場で、タオル、くし、ブラシなどの共用や寝具類を介してうつることが多い。
- ・髪と髪が触れ合うことでうつることがある。
- ・身を寄せて遊んだり、頭を付けて遊ぶ年頃の幼稚園、保育園、小学校低学年等に集団発生する。
- ・幼小児はアタマジラミの寄生に気づかないので広がりやすい。
- ・頭髪から落ちたアタマジラミが衣服を介してうつることがある。

3 アタマジラミの見つけ方

- ・成虫は動き回り見つけにくいので、髪の毛に産み付けられた卵を見つける。
- ・卵はヘアーキャスト（フケ）や脂肪と似ているので注意する。フケや脂肪は、爪でしごくと簡単にとれるが、卵はしっかりとくっついている。

4 駆除方法

- ・少数の場合は卵を探して取り除く。必要に応じ虫卵のついた毛髪を切りとる。
- ・2週間ほど、できるだけ毎日洗髪し成虫や幼虫を洗い流す。
- ・洗髪後、目の細かいくしや、ブラシでよく髪をすくことで産み付けられた卵を取る。
- ・可能であれば、髪はできるだけ短くする。
- ・枕カバー、シーツ、タオル、下着類を毎日替えて熱湯処理（60℃以上に保ち5分間）し、洗濯する。洗えないものはアイロンをかけるかドライヤーなどで熱処理する。
- ・人体用のシラミ駆除剤（フェノトリンを主成分とした粉剤あるいは液剤）を薬局等で購入し、用法用量に従って使用する。（商品名：スミスリンパウダー、スミスリンシャンプータイプ）
- ・アタマジラミや卵の落ちそうな所では掃除機でよく掃除をする。

5 予防方法

- ・タオル、くし、ブラシ、帽子等の共用を避ける。
- ・頭髪を丁寧に観察し、早期に虫卵を発見することが大切である。
- ・寝具、着衣の洗濯や熱処理をする。
- ・こまめに掃除をする。
- ・発見したら一斉に駆除することが効果的である。

秋田市保健所衛生検査課

〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8-3

TEL：883-1181 FAX：883-1344

E-mail：ro-hlex@city.akita.akita.jp